

開かれた議会推進のためのコミュニケーション誌

主な内容

- P 2 定例会の概要
- P 4 雲仙市子どものいじめの防止条例
- P 5 平成23年度決算認定
- P 6 意見書
- P 7 議決結果
- P 8 委員会報告
- P11 一般質問
- P16 市長の任期
- P17 委員会行政調査報告
- P18 請願・陳情のお知らせ
- P19 会派名簿
- P20 会期日程／編集後記

小浜消防署はしご車引渡し式

県央地域広域市町村圏組合小浜消防署はしご車が更新され、市役所で引渡し式が行われました。





平成24年第4回定例会の概要

平成24年第4回定例会は、11月29日～12月19日の21日間開催されました。今定例会では、一般会計補正予算案や県下初めての「雲仙市子どもいじめの防止に関する条例制定案」等が審議されました。主な内容について紹介します。

平成24年度補正予算案

◆ 一般会計補正予算(第3号)

- 衆議院議員選挙執行経費 2,593万3千円

(平成24年12月16日に実施される衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行経費)

◆ 一般会計補正予算(第4号)

- 雲仙市長選挙執行経費 2,589万7千円

(平成25年1月13日に実施される市長選挙執行経費)

◆ 一般会計補正予算(第5号)

- いじめ防止専門委員会運営事業 66万円
- 障害者福祉事務費 5,957万4千円
- 農道維持管理事業 263万4千円
- 漁港施設災害復旧事業 5,589万7千円

① 現年漁港施設災害復旧事業

【補助事業】

- 京泊漁港白頭防波堤(南串山)
- 京泊漁港城崎新護岸(南串山)
- 千千石漁港G護岸 (千々石)

【単独事業】

- 千千石漁港G護岸付帯工(千々石)



千千石漁港のG護岸

② 漁港施設小規模復旧事業

【単独事業】

- 赤間漁港防波堤 (南串山)
- 富津漁港船上げ場 (小 浜)
- 千千石漁港護岸 (千々石)



赤間漁港防波堤

雲仙市子どものいじめの防止に関する条例

骨子

目的	<p>子どものいじめの防止に係る基本理念及び責務を明らかにするとともに、いじめの防止及び解決を図るための基本となる事項を定め、子どもが安心して生活し、学ぶことができる環境をつくる。</p>
基本理念	<p>①市、学校、保護者、市民、事業者及び関係機関等は、子どもが安心して生活し、学ぶことができる環境を実現するため、それぞれの責務を自覚し、主体的かつ相互に連携し、いじめの防止に取り組まなければならない。</p> <p>②子どもは、いじめが人間の尊厳を踏みにじり、基本的人権を侵害する行為であることを理解するとともに、いじめは人間として絶対に許されないとの強い認識を持たなければならない。</p>
専門の委員設置	<p>市長は、専門家による客観的な立場からの調査、調整等を行うため、雲仙市子どものいじめの防止専門委員会を設置する。</p> <p>※専門家として、弁護士、臨床心理士、人権擁護委員、警察関係者、及び県の子ども支援関係者等を予定している。</p>

条例制定議案は、全会一致で可決されました。



平成23年度一般会計及び特別会計決算概要

一般会計及び特別会計の決算総額は、歳入決算額39,284,212,763円に対し、歳出決算額は38,159,411,646円で、歳入歳出差引額の1,124,801,117円黒字決算となっている。

各会計の決算内訳

(単位:円、%)

会計別	歳入		歳出		差引額	
	決算額	構成比	決算額	構成比		
一般会計	28,756,957,993	73.2	27,834,771,543	72.9	922,186,450	
特別会計	国民健康保険	7,565,534,526	19.3	7,435,199,589	19.5	130,334,937
	後期高齢者医療	443,651,793	1.1	434,710,757	1.1	8,941,036
	簡易水道事業	881,907,110	2.2	858,875,454	2.3	23,031,656
	下水道事業	1,210,529,864	3.1	1,186,127,680	3.1	24,402,184
	と畜場	210,351,045	0.5	201,066,650	0.5	9,284,395
	国民宿舎事業	176,946,131	0.5	172,499,857	0.5	4,446,274
	温泉浴場事業	38,334,301	0.1	36,160,116	0.1	2,174,185
	小計	10,527,254,770	26.8	10,324,640,103	27.1	202,614,667
合計	39,284,212,763	100.0	38,159,411,646	100.0	1,124,801,117	

決算審査特別委員会の審査状況

一般会計、特別会計の国民健康保険及び後期高齢者医療については、採決の結果、賛成多数で認定し、その他の特別会計は全会一致で認定となりました。

意見書

下記の意見書3件を国の関係行政庁へ送付しました。意見書本文は抜粋を掲載しています。

未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の1/2復元と制度堅持を求める意見書

平成18年度において、義務教育費国庫負担制度は堅持されたものの、義務教育費の国負担率は、1/2から1/3に下げられた。

現在、義務教育費国庫負担金が減額された分は地方交付税で措置されている。平成22年度予算の地方交付税は約16.9兆円(前年度比6.8%増)で、国庫負担率変更前の平成17年度比、マイナス0.4%と一定回復された。しかし、県市町ともに財政の厳しい中、全国的な教育水準を確保し、安定した地方財政を構築するためには、義務教育国庫負担率を1/2に復元すべきである。教育予算は未来への先行投資であり、子どもたちに最善の教育環境を提供していくことは社会的な使命である。

よって、国におかれては、義務教育費の負担率を1/2に復元することを含め、義務教育費国庫負担制度を堅持されるよう強く要望する。

【提出先】 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

教育予算を拡充し、30人以下学級の実現を求める意見書

日本は、GDPに占める教育費の割合が、OECD諸国の中で最下位から2番目となっている。割合は諸国の平均より1.6ポイントも下回っている(2009年)。未来を担う子どもたちに、国民として一人ひとりが必要な基礎的資質を培うために豊かな教育を保障することは、国の社会基盤形成の根幹ともなる。教育予算は「未来への先行投資」であり、子どもたちに最善の教育環境を提供していくことは社会的な使命である。

よって、国におかれては、教育予算を拡充し、標準定数法を改正し30人以下学級を実現し、学校現場に必要な教職員の人員を確保するよう関係機関に働きかけていただくよう要望する。

【提出先】 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

地球温暖化対策を推進するための森林整備等に係る財源の確保を求める意見書

1. 地球温暖化対策を着実に進める観点から、「地球温暖化対策のための税」の用途に森林吸収源対策を位置付け、森林・林業・林産業における地球温暖化対策の実行に必要な財源を確保するための措置を講じること。
2. 上記1の財源によって、再生可能エネルギー源としての木質バイオマスや住宅分野における建築用材など木材の利用によるCO₂排出抑制対策への支援を充実すること。

【提出先】 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣

平成24年第4回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	件名	議決結果
認定第1号	平成23年度雲仙市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	平成23年度雲仙市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	平成23年度雲仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第4号	平成23年度雲仙市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第5号	平成23年度雲仙市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第6号	平成23年度雲仙市と畜場特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第7号	平成23年度雲仙市国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第8号	平成23年度雲仙市温泉浴場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第9号	平成23年度雲仙市水道事業会計認定について	認定
第63号	専決処分した事件の承認について(平成24年度雲仙市一般会計補正予算(第3号))	承認
第64号	長崎県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約について	原案可決
第65号	雲仙市子どものいじめの防止に関する条例の制定について	原案可決
第66号	雲仙市風致地区内における建築等の規制に関する条例の制定について	原案可決
第67号	雲仙市市道の構造の技術的基準を定める条例の制定について	原案可決
第68号	雲仙市市道に設ける案内標識等の寸法を定める条例の制定について	原案可決
第69号	雲仙市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する条例の制定について	原案可決
第70号	雲仙市営住宅等整備基準条例の制定について	原案可決
第71号	雲仙市営住宅管理条例の一部を改正する条例について	原案可決
第72号	雲仙市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	原案可決
第73号	雲仙市公共下水道条例の一部を改正する条例について	原案可決
第74号	雲仙市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
第75号	平成24年度雲仙市一般会計補正予算(第5号)案について	原案可決
第76号	平成24年度雲仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)案について	原案可決
第77号	平成24年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算(第2号)案について	原案可決
第78号	南島原市道路線の変更に関する承諾について	原案可決
第79号	平成24年度雲仙市一般会計補正予算(第4号)案について	原案可決
請願第2号	未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の1/2復元と制度堅持を求める意見書の採択要請についての請願	採択
請願第3号	教育予算を拡充し、30人以下学級の実現を求める意見書の採択要請についての請願	採択
発議第13号	未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の1/2復元と制度堅持を求める意見書について	原案可決
発議第14号	教育予算を拡充し、30人以下学級の実現を求める意見書について	原案可決
発議第15号	地球温暖化対策を推進するための森林整備等に係る財源の確保を求める意見書について	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決2件・承認1件と決定しました。主な案件の質疑内容は次のとおりです。

付託案件	審議結果
専決処分した事件の承認について (平成24年度一般会計補正予算(第3号))	承認
雲仙市子どもいじめの防止に関する条例の制定について	原案可決
平成24年度一般会計補正予算(第5号)案	原案可決

雲仙市子どもいじめの防止に関する条例の制定について

子どものいじめの防止に係る基本理念及び責務を明らかにするとともに、いじめの防止及び解決を図るための基本となる事項を定め、子どもが安心して生活し、学ぶことができる環境をつくるために条例を制定しようとするもの。

質疑 条例の制定により、学校の現場はどのように変わるのか。

答弁 市民総ぐるみで子どもたちの成長を見守り、市全体で子どもが安心して生活できる環境を整えられる。学校は子どもいじめを早く把握でき、早く解決の手立てが取りやすくなる。更に教育活動・生徒指導の充実を図ることができる。

質疑 いじめは外部から発覚するまで分から

総務

ないのか。

答弁 昼休みに校内巡回をしたり、アンケートを取ることにより実態把握や解決に努めている。まず発見するところが第一であり、いじめに関する情報はどんな形でも、また何処からでも収集したい。

質疑 保護者からの厳しい意見等への対応は。

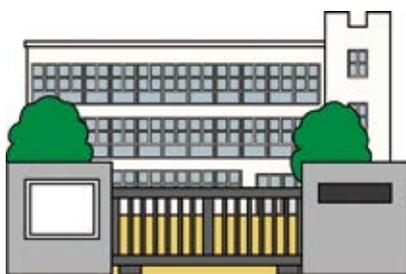
答弁 保護者の声にはまず耳を傾け、話し合いによる問題解決に努めている。「学校だより」を各家庭に配布し、地域に学校の状況を発信するなど、「開かれた学校づくり」に努めている。

質疑 いじめが発生した場合、市長部局と教育委員会が対応する仕分けは、整理されているのか。

答弁 まず学校で取組み、解決が困難なとき教育委員会へ、更に教育委員会で困難な場合は「市子どもいじめの防止専門委員会」への判断を仰ぎ、適切な指導・助言がなされることにより学校、教育委員会、専門委員会の連携ができていく。

質疑 法的な手段を取らざるを得ない重大な案件が発生した場合に市、学校、保護者及び教育委員会の責任の度合いは。

答弁 まず学校で取組み、解決が困難なとき教育委員会へ、更に教育委員会で困難な場合は「市子どもいじめの防止専門委員会」への判断を仰ぎ、適切な指導・助言がなされることにより学校、教育委員会、専門委員会の連携ができていく。



答弁 難しい問題であり、今後専門委員会において整理する必要はある。

質疑 専門委員会委員は専門家として、弁護士・臨床心理士・人権擁護委員・警察関係者及び県子ども支援機関関係者などを考えられているようだが、雲仙市及び学校の実情をよく分かる人を選任すべきではないか。

答弁 人権擁護委員については雲仙市内、それ以外の委員は市外の可能性が高い。専門家による客観的な立場から調査・調整を行う外部委員として、雲仙市の実情が分かる人を含め検討したい。

意見 いじめ防止の啓発・広報活動による普及に努めることも大事であるが、条例の有効な運用には規則・規約等を充分検討して定める必要がある。

また、保護者会等が開催される場合、外部に個人情報漏れることが懸念されるため、「個人情報取扱い」について啓発していく必要がある。

平成24年度一般会計補正予算(第5号)案について

質疑 市子どもいじめの防止専門委員会委員は5名で足りるのか。

答弁 他市の事例をみても5名程度が最適と考える。



常任委員会報告

付託案件	審議結果
長崎県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約	原案可決
雲仙市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
平成24年度一般会計補正予算(第5号)案	原案可決
未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の1/2復元と制度堅持を求める意見書の採択要請についての請願ほか1件	採 択

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決3件、採択2件と決定しました。主な案件の質疑内容は次のとおりです。

長崎県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約

質疑 外国人登録原票の文言を削るとは、具体的にはどういふことか。

答弁 外国人も日本人と同様に、住民基本台帳に登録されるようになったことにより、外国人登録原票が無くなる。

雲仙市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

質疑 雲仙市にこの資格を持つている人は何名いるのか。また、条例第14条にある全ての資格を有しているのか。

答弁 小浜クリーンセンター関係で1名おり、条例第14条(3)「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の17第2号イからチまでに掲げる者」により資格を有している。

質疑 その要件で問題はないのか。

答弁 問題ない。

質疑 今回の法改正により、清掃業務に携わる市内業者への影響はあるのか。

答弁 環境省の基準を参酌するということで、これまでの基準と変わることではなく、影響はない。

平成24年度一般会計補正予算(第5号)案

質疑 障害者福祉事務費の詳細な内容は。

答弁 障害者福祉事務費には、ケアホームなど福祉サービスを行う障害者自立支援給付費と、更生医療の給付を行う障害者医療費給付費の2つの事業があり、平成23年度の実績に基づき超過交付分を返還する。障害者自立支援給付費については、平

成23年度に開設された2事業所の事業開始が遅れたこと、障害者医療給付費については、更生医療が見込みより少なかったことが返還となった要因である。

質疑 生活保護総務事務費の説明に出てきた「セーフティネット」とはどのようなものか。

答弁 「セーフティネット」とは、病気・事故や失業などで困窮した場合に、憲法第25条の「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を保障する制度であり、これにより、雲仙市としては平成21年8月から就労支援員を1名雇用し、生活保護受給者に就労支援を行っている。

質疑 福祉医療費について、現物給付の実施に伴

う医療費の伸びは。

答弁 平成23年度から現物給付が導入されたが、平成22年度と比較した場合、平成23年度は1.36倍となっている。医療費の請求は2カ月後となるため、平成23年度は2カ月間償還払いの期間が含まれている。なお、平成24年度予算の今回補正の見込みは、平成23年度の1.38倍としている。

※現物給付とは、医療機関などで、一定の自己負担額(日上限800円、ひと月上限1600円)で診療が受けられる制度。

未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の1/2復元と制度堅持を求める意見書の採択要請についての請願

全国的な教育水準を確保し、安定した地方財政を構築するために、義務

教育費国庫負担率を2分の1に復元することを含め、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出を求められたもの。

教育予算を拡充し、30人以下学級の実現を求める意見書の採択要請についての請願

子どもたちに最善の教育環境を提供していくために、教育予算を拡充し、標準定数法の改正により30人以下学級を実現し、学校現場に必要な教職員の人員の確保を求める意見書の提出を求められたもの。

文教厚生



本委員会に付託された左記の案件について、原案可決12件と決定しました。
 主な案件の質疑内容
 は次のとおりです。

付託案件	審議結果
風致地区内における建築等の規制に関する条例の制定についてほか7件	原案可決
平成24年度一般会計補正予算(第5号)案について ほか2件	原案可決
南島原市道路線の変更に関する承認について	原案可決

風致地区内における建築等の規制に関する条例の制定について

質疑 条例の制定により風致地区の決定は市でできるのか。

答弁 決定及び変更についても市でできるようになっていく。

質疑 取り消しもできるのか。

答弁 できるようにするが、都市計画法の規定により、県との協議が必要である。

質疑 風致地区に決定された地区は開発などを行う場合、様々な規制を受けることになる。今後風致地区を増やす予定はあるのか。

答弁 新たに増やす予定はない。

市道に設ける案内標識等の寸法を定める条例の制定について

質疑 標識等を小さく出来るということであるが、狭いところはやむを得ないとしても、本市の高齢化の状況を考えると、目に入りやすいように逆に大きくした方がよいのではないか。

答弁 必ず小さくするといいものではないため、臨機応変に対応したい。

質疑 事故なども考慮するとあえて小さくする必要があるのか。

答弁 設置場所を確保できるところには、従来どおり対応したい。

反対討論 高齢化時代を考えると、よく見えるようなものがよく、現状のままがよいと思われるため、原案に反対する。

産業建設

質疑 千石漁港施設G

護岸の災害復旧工事の内容は。

答弁 対象が2工区で、1工区が10m、2工区が39.5mの合計49.5m、階段工と一部飛散している根固めブロック、上部工の舗装工復旧である。

質疑 農道維持管理事業における雇用者数と期間は。

答弁 2月3月の2ヶ月間、北部に2名、南串山・小浜方面で2名の計4名の雇用を予定している。

質疑 ほかにどのような経費を見込んでいるのか。

答弁 人件費、土砂・草木の搬出車や作業用の簡易な機械の借上げ代などである。

質疑 道路橋りょう費における繰越明許費補正の

理由として、地権者関係の同意など事務手続きの遅れが挙げられることとであるが、予算は単年度方式であり、やむを得ない事情があり、次年度完了の見通しが立つ場合のみ、繰越が認められる。

予算を組む前にしっかりと調査・交渉などをすべきではないか。

答弁 その方法が一番いいと思われる。しかし、地元からの要望などにより行う場合、土地に関する同意書なども一緒に提出され、計画・予算を行うが、測量などの後に名義人の違い、地権者の考え違いなどの問題がでてくる場合がある。担当部署としては計画的に進めたいが、強制的にはできず、難しい面もある。今後は出来る限り繰越のないようにしていきたい。

「地球温暖化対策を推進するための森林整備等に係る財源」の確保に関する意見書の提出について
 趣旨に賛同できるとして採択し、その意見書を提出することを決定した。



雲仙白ねぎ生産組合育苗ハウス



瑞穂町夏峰地区下水道工事現場

一般質問

10人の議員が登壇し、市政に対する質問を行いました。

松尾 文昭…P11
 町田 康則…P12
 平野 利和…P12
 町田 誠…P13
 大久保信一…P13

浦川 康二…P14
 中村 勲…P14
 小田 孝明…P15
 福田 大東…P15
 上田 篤…P16



一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています。

雲仙市の都市づくりは

酒井農林水産商工部長 小
 委員会を経て農業振興地域整備促進協議会の意見もも
 らい計画を策定していく。基

町田市長職務代理者 地域
 別振興計画の中で調和の取れ
 た環境づくり、交流人口の増
 加を図り、にぎわいのある町
 づくりを進める。

松尾議員 ①市街地の展望、
 総合計画、地域の基本構想は
 ②農振の見直しにより定住
 促進に繋がるのではないか
 ③定住化が進んでいる地域
 について水路の整備は④市
 街地周辺の基盤整備は。

農振の見直しで定住促進を



まつお ふみあき
松尾 文昭 議員

盤整備については、営農意欲
 の高い農業者の意向により愛
 野地区基盤整備推進準備会
 が発足し、出発点に立ったと
 ころである。

野口建設整備部長 排水路
 の整備は、事前調査結果を検
 討し、総合的に研究する。

愛野町公民館の建て替えは

松尾議員 愛野町公民館は、
 築40年近くなるが、建て替え
 の考えは。

塩田教育長 今後どのよう
 な施設機能を持ったものが良
 いのか全市的な視野に立つて、
 調査研究していきたい。



愛野町公民館

市長の退職金はいくらか



まちだ やすのり
町田 康則 議員

市長・副市長・教育長の退職金の減額は

町田議員 市民の声を聞くと、日本経済の悪化で給与も下がり、当然ボーナスもなく生活が極めて厳しい状況にある。市長など特別職(4人)の退職金は一任期、4年以内くらいなのか。

畑中総務部長 市長で2061万円、副市長1002万円、教育長618万円である。

町田議員 合併前は7カ町で町議会議員は98名であった。一期目の市議会議員は30名となり、二期目は現在26名である。三期目には議会で行う自ら5名削減し21名で行うようにした。雲仙市の財政状況や、納税者としての市民感

情からしても4年間で2千万円、1千万円というのは、あまりにも高い。減額すべきである。

町田市長職務代理者 私個人としては、今の世相からして高いという感覚は持っている。減額についての答弁は控えない。

町田議員 議員は年金も廃止になり、もちろん退職金もない。山口県宇部市では市長の退職金を82%減額した。群馬県太田市、熊本県八代市では、三役の退職金を0とした。福岡県久留米市、佐賀県鳥栖市でも市長の退職金を0とし、全国では見直しがかなり出ている。雲仙市長の給与は年額1284万円、副市長は1040万円、教育長は923万円、退職金の算定は、長崎県市町村職員退職手当第6条で最後の月の給与を基準とするとなっているので、今からでも減額できる。市民感情を考えていくべきだ。

防災・減災で景気回復



ひらの としかず
平野 利和 議員

防災・減災対策は

平野議員 市民の生命と財産を守る防災、減災対策、市で管理する橋梁の整備は大丈夫なのか。

町田市長職務代理者 市が管轄する橋梁は、30年〜50年経過している。定期的な点検を行い被害を低減させるよう取り組む。

平野議員 防波堤、通行する橋など市民の安全を守るために検証をし、市内の業者に工事をしてもらう事によって景気も回復していくのではないかと強く要望する。

雲仙市防災訓練に対する厳しい意見をもらった。この意見に対する市の考えは。

町田市長職務代理者 真摯

に受け止め防災訓練をやるべきの参考にしていきたい。

軽自動車税の滞納は

平野議員 軽自動車税の滞納が高額になっているが、車検をしないで走っている車があるのではないかと。地元の業者で車検をする指導はできないのか。

菅市民生活部長 滞納者がすべて無車検とは限らない。モラルの問題で、自覚を促す意味で広報での啓発を行う。

他の質問

- ・入札制度
- ・通学路等の安全性について



小浜町北野地区防波堤被災状況

再生可能エネルギーは



まちだ まこと
町田 誠 議員

緊急時の電源確保対策は

町田議員 震災その他緊急時に避難所となる公共施設またその他公の施設の電源対策について。またグリーンニューデールについてたずねる。

菅市民生活部長 現在市においてもうひとつ太陽光発電システムの可能な所有地の調査をかけている。9月の議会後すでに調査をかけ、1000㎡以上の土地について有効なところがないか整理している。ニューデールの基金が補助制度としてある。当基金を活用できるように国に要望を続けたい。

町田議員 11月18日市防災

訓練が行われ訓練参加機関としてなぜ九州電力の参加はできなかったのか。市は参加要請はしたのか。

菅市民生活部長 九電からはグループ長にきてもらい、訓練の一部始終を見てもらった。案内はしていた。

町田議員 吾妻牛口名にメガソーラー事業計画があった。その後どの程度まで話が進んでいるのか。最終的には地元周辺の方の理解が必要であるが。

近藤政策企画課長 私が住民説明会に出席した。その中でやはり電磁波の問題が一番心配が多かった。



メガソーラー

農業政策は



おおくほしんいち
大久保信一 議員

土地改良区の統合整備の考えは

大久保議員 土地改良区は昭和36年をピークに年々減少をしている。その要因は農家数の減少・市町村の財政状況の変化から運営費の補助金打ち切りにより、合併と解散が進み減少したと言われている。統合整備を行うことで市との連携を強化し、維持管理の合理化等を図る必要があると思うが市の考えは。

酒井農林水産商工部長 土地改良区は非常に重要な団体である。改良区運営実態調査では48%が施設の管理費、運営費等の確保が難しいことになっている。市としても合併など統合整備を推進している。

公共土木事業の申請方法は

大久保議員 公共土木事業を行うものに対し、雲仙市補助金等交付規則と、要綱を定めてある。申請者として自治会長だけを定めてあるが場所等の把握をしているか。

野口建設整備部長 市道路線ごとの自治会の地域割は、集落周辺の市道は把握しているが、集落から離れた場所については線引きが難しい。協力を求められた自治会長に負担をかける結果となる。今後把握ができない箇所は申請者の見直しを含めて検討していく。



公共土木事業の施行状況

庁舎整備計画素案は



うらかわ やすじ
浦川 康二 議員

庁舎整備計画の方向性は

浦川議員 本庁増設庁舎建設位置は、市民の利便性確保及び事務効率上の観点から本館に隣接して建設すると整備計画方針で示されているが、素案ではどの位置を検討されているか。また駐車場の集約化は検討されているか。

近藤政策企画課長 本庁舎増築位置は、多くの位置を検討し、最終的な候補として、本庁舎に隣接して山側と国道側に建築する案が最終的に残っている。駐車場は最終的には新市長のもとで具体的な組織体制を踏まえた形で検討する。



雲仙市役所庁舎

雲仙市の財政運営は

浦川議員 平成25年度予算は、長期的視野に立ち予算縮減に向けた予算編成に取り組むとあるが、予算縮減額は。

畑中総務部長 平成25年度は24年度に対して、約2%減のシーリングをかけている。

浦川議員 財政計画は24年度に比し、25年度は5.7%減となつている。シーリングの2%削減は理解できない。予算書で再確認する。合併特別債発行限度額は、建設事業で29.2億円、振興基金積立38億円あるがその運用計画は。

畑中部長 平成32年度まで建設事業17.5億円、振興基金38億円、計21.3億円（執行率64.7%）を計画している。

自主財源の確保状況は



なかむら いさお
中村 勲 議員

雲仙市税等の徴収状況は

中村議員 雲仙市が誕生して七年になるが、その間の市税等の不納欠損額処分額は、1億4341万円、国民健康保険税特別会計では、1億1702万円にもなっている。不納欠損処分した原因と経緯は。また市では徴収嘱託員を採用し、平成19年度から実施されているがその実績は。

菅市民生活部長 不納欠損処分については、地方税法第15条の規定に従いその事態に陥った債権については、毎年雲仙市の収入促進対策協議会に報告し、確認の上会計規則に基づいて、事務処理を行っている。また、徴収嘱託員の実績については、現在5名

採用しているが、平成23年度の実績で市税・国保税の徴収額は1億2381万円であり、経費は1683万円である。

中村議員 学校給食の未収金が増加していると聞くが、その残高と、回収方法はどうか。

山野教育次長 平成23年度末で、2210万円となっている。未納対策については、保護者を対象にして、督促などを行い戸別訪問徴収を実施していきたい。

その他の質問

- ・雲仙市奨学資金制度と、未収金の現状について。
- ・千々石橋付近の川の整備と、渋滞対策について。



千々石川

入札は命・真剣勝負



おだ こうめい
小田 孝明 議員

落札者に落ち度があったのか

小田議員 平成24年7月5日執行の入札で落札者と契約しないので再入札を行ったのは。

町田市長職務代理者 25社

が参加した愛野運動公園多目的芝生広場整備工事(本体工事)の入札に市の設計書と異なる設計資料を渡していた。公正な入札でないかと判断し入札を無効と決定した。

小田議員 市の落ち度か。

境川副市長 市の落ち度である。

小田議員 業者は何日も前から準備し期待を持って入札に臨んでいる。「落ち度でした。すみません。再度入札を

実施させていただきます。」では落札者の怒りは計り知れない。

入札参加業者に非があった場合は指名停止を行う。組織としてのけじめをつけることが世の中の常識ではないか。

町田市長職務代理者 教育委員会では処分している。

塩田教育長 教育委員会臨時会を開き関係職員の文書訓告と口頭注意を行った。

小田議員 世間は理解できるのか。

国有林でのイノシシ捕獲は

酒井農林水産商工部長 狩猟者が森林管理者へ入林届を提出して捕獲できる。

乗り合いタクシー実施は

菅市民生活部長 平成25年度予算計上し実施する予定。



滞納対策チームの構築を



ふくだ だいじゅう
福田 大東 議員

税の滞納状況は

福田議員 市税、使用料等の滞納状況と収納対策は。

町田市長職務代理者 滞納管理システムの導入、徴収職員との連携強化を図り、収納の確保に努めている。滞納増加の背景は、納税意識の低下と欠如が原因であるほか、現下の厳しい経済情勢を背景とした失業や所得の減少からの生活困窮や納税者の転出、住所不明等の原因がある。調査の後、滞納処分執行停止を努め、滞納繰越総額の圧縮に努めている。平成27年からは、電算の単独化が構築運用されるので効果が期待される。

福田議員 滞納管理システムが充実しても実際の収納

体制が未熟である。法的な部分も含め対策チームの構築が重要では。

町田市長職務代理者 新市長の下で、組織されると思う。

「パークホテル跡地」をどうするか

福田議員 雲仙古湯地区のファサード整備は終了したが完成に至っていないように思う。地区内に存在する市所有の老朽化した「パークホテル」跡はどうするか。

境川副市長 財産評価委員会ではもう売れるのは難しいのではないかと考えている。今後どのようにしていくか、取り壊しも含め、担当課と協議をしながら進めているので、早い機会に結論を出したい。



雲仙パークホテル

生活保護制度の充実を



うへだ あつし
上田 篤 議員

生活困窮の原因は失政にある

上田議員 生活保護受給者は全国で210万人以上。これだけ多いということは個人責任ではなく、失政に問題がある、と言わなければならない。この制度は最後のセーフティーネットであり、充実こそ必要ではないか。

本多市民福祉部長 これは憲法第25条に基づき、国が生活に困窮するすべての国民に対し、最低限度の生活を保障するものだ。景気低迷が続く中で失業者が増加し、受給者も増加している。

上田議員 不正受給が問題になるが、全国的にみると保

護世帯数の1.54%で、不正受給額は0.33%であり、本当にわずかしかない。誤解がないようにすべきだ。

乳幼児だけでなく、中学生まで医療費を無料に

上田議員 今年度から乳幼児の医療費助成が「現物給付」(本人負担なし)となり、保護者から喜ばれている。松浦市では独自に中学生までの助成を行い「無料」(一部負担金800円を除く)としている。雲仙市でもできないか。

本多部長 試算では2233万円の予算が要る。今後研究したい。



市長の任期について

地方自治法において、市長の任期は4年と決められています。

また、公職選挙法で「地方公共団体の長(市長)の任期は、選挙の日から起算する」となっていますので、新市長の任期は、平成25年1月13日から平成29年1月12日までの4年間となります。

なお、市議会議員の任期も地方自治法において4年と決められており、現職議員の任期は平成21年11月20日から平成25年11月19日までです。



委員会行政調査報告

産業建設常任委員会

平成24年10月30日～11月1日の日程で、行政調査を実施した。

大阪府貝塚市では、企業誘致について調査。府の産業集積促進地域44haの指定を受け、奨励金・府用地貸付料の減額・府不動産取得税の軽減、下水道使用量の減免などの効果もあり、住宅用地に約1800世帯、工業用地に約100社の進出があっている。

愛知県犬山市では観光誘致の推進について調査。「町歩き」を題材に季節毎に城下町の魅力が、名古屋鉄道と協働でPRされ、市はおもてなしを、集客は名鉄の事業で行なわれていた。

他に常滑市のやきもの散歩道地区景観計画。堺市の関西電力堺太陽光発電所にて、メガソーラーの現状、今後の動向について調査した。



大阪府貝塚市での研修

文教厚生常任委員会

平成24年11月6日～8日の日程で、行政調査を実施した。

長野県松本市では「食育への取り組み」について調査。「すこやか食プランまつもと」の計画のもと、家族・地域・幼稚園・学校での食育を基本目標として種々の施策が実施されていた。

新潟県糸魚川市では「子供一貫教育と糸魚川ジオ学」について調査。教育委員会の中に「こども課」を新設し、子どもの育ちや学びの連絡性に対応した指導窓口の一本化をされていた。

長野県大町市では「新エネルギーの導入」について調査。豊富で安定した水準を確保できる用水路から取水し水力発電事業を実施されていた。



新潟県糸魚川市での研修

議会広報編集特別委員会



宮崎県小林市での研修

平成24年11月12日～13日の日程で、宮崎県小林市、鹿児島市始良市へ議会広報の視察を実施しました。今回のテーマ「手にとって読みたくなる議会だより」を目指して研修をしてきた。

両市とも、議会報にて市民の意見をもらうように工夫しており、身近に感じ、市民の皆様も参加できるようになっていた事が最大の参考になった。

雲仙市議会としても2月の議会報から採用し、市民の皆様の意見をもらう様にしていきたい。

請願・陳情をご存知ですか？

請願・陳情は、市民の皆様の見解や要望を市政に反映させるための制度です。
市政に意見や要望がある方は、どなたでも議会に請願や陳情を行うことができます。
請願・陳情は常時受け付けておりますが、原則として当該定例会の会期、議事日程を決める議会運営委員会招集日（詳しくは議会事務局まで）の前日17時までに提出されたものを日程にのせるものとしております。

■請願と陳情の違い

請願は委員会で内容を審査し、本会議で採択・不採択の結論を出します。結論が出たものについて、請願者に通知します。

陳情は委員会に送付しますが、通常、採択・不採択の結論は出しません。

■提出方法

請願書には、邦文を用いて、請願の趣旨、提出年月日、請願者の住所及び氏名（法人の場合には、その名称及び代表者の氏名）を記載し、請願者が押印して提出してください。

請願には、1名以上の議員の紹介が必要です。紹介議員の署名又は記名押印を受けてください。

陳情は、請願と同じ様式ですが、紹介議員は必要ありません。

請願書式例

	年 月 日
雲仙市議会議長	
請願者住所	
氏名	①
紹介議員	①
○○○○○○に関する請願 (請願の趣旨) (請願文)	

陳情書式例

	年 月 日
雲仙市議会議長	
陳情者住所	
氏名	①
○○○○○○に関する陳情 (陳情の趣旨) (陳情文)	

●請願・陳情に関するお問合せ

雲仙市議会事務局

TEL 0957-38-3120



会派とは ● ● ●

市政に対して同じ考えや意見を持っている議員が集まり、その考えを市政に反映させるためにグループをつくって活動しています。これを会派といい、雲仙市議会では「会派設置に関する規定」により3人以上の議員で会派を結成でき、現在4つの会派があります。

雲仙市議会会派別名簿

創雲仙会(4人)	明世会(4人)	新風(3人)	新政会(4人)
岩永 基和	小田 孝明	町田 康則	前川 治
福田 大東	中村 一明	松尾 文昭	深堀 善彰
岩下 勝	大久保信一	酒井 恭二	坂本 弘樹
森山 繁一	浦川 康二		林田 哲幸

問 1 「議会だより」を読まれての感想や、お気づきの点などあればお書きください。

問 2 議会への意見や質問などお寄せください。

ご協力ありがとうございました。

議会へのご意見・ご感想をお寄せください!



雲仙市議会では、市民の皆様から広くご意見を伺うため、今回から議会だよりに返信用ハガキを掲載することとしました。

議会だよりに読まれての感想や議会に対するご意見等をご記入の上、ご送付ください。(お手数ですが、50円切手をお貼りください)

いただいたご意見等は、議会だよりに掲載する場合がありますので、ご了承ください。

皆様からいただいたお名前などの個人情報をも目的以外のために利用したり、第三者に提供することはありません。

議会を傍聴してみませんか？

平成25年第1回雲仙市議会定例会の会期日程(案)は
2月28日(木)～3月28日(木)です

- 一般質問 3月 4日(月)～8日(金)
- 議案質疑 3月11日(月)
- 委員会
 - 産業建設常任委員会 3月12日(火)、13日(水)
 - 文教厚生常任委員会 3月14日(木)、18日(月)
 - 総務常任委員会 3月21日(木)、22日(金)



※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。
 ※簡単な手続きで傍聴できますので、議場へ足をお運びください。

編 集 後 記

市長が不在での一般質問は、確認までではできず、将来展望等はできなく質問者にとって大変もどかしいものとなりました。

しかし、質問者は自分のあらん限りの知恵をしばりながら、質問をしていたのが印象的でした。

今年初議会からは、金澤秀三郎新市長へ、皆はりきって市民の声をぶつけて行くことでしょう。 乞う、御期待。 (町田康則)



議会広報編集特別委員会

- 委員長 上田篤
- 副委員長 浦川康二
- 委員 中村一明、岩下勝、町田康則
 平野利和、酒井恭二
 坂本弘樹、林田哲幸

郵便はがき

8 5 9 1 1 0 7

お手数ですが
 50円切手を
 お貼り下さい

雲仙市吾妻町牛口名714番地

雲仙市役所 議会事務局
 「議会広報編集特別委員会」 行

(議会だより32号)

ふりがな
 お名前

※議会だよりにご意見等を掲載させていただく際にお名前を掲載します。
 イニシャルやペンネームでの掲載を希望される場合は下の欄にご記入ください。

おところ

電話番号()-()-()

平成25年2月1日発行 / 第32号 発行 ● 雲仙市議会
 編集 ● 議会広報編集特別委員会
 〒951-8501 雲仙市吾妻町牛口名714番地
 TEL 0958-32-1111 FAX 0958-32-1112
 E-MAIL info-unzen@city.unzen.nagasaki.jp